第3回　中央委員会

～年内最後の中央委員会で一年の総括を行い、2013年度第1四半期の決算が承認される～

十一月二十七日（水）十四時からアークホテル京都に於いて、年内最後となる京交第三回中央委員会が開催された。冒頭、瀬戸執行委員長から「①都市交解散について②自治労との産別統合について③各種選挙について④台風十八号における対応について⑤市労連確定交渉について」等、今年一年を振り返っての感想がある述べられた。続いて、団体交渉やエンパワメント活動などの報告事項並びに二〇一三年度第1四半期の決算報告及びレクレーション開催等の議案について審議され、それぞれ確認された。また、再任用制度導入にかかる賃金労働条件の交渉や、自動車部が毎年年末に実施している「全車ピカピカ宣言」のエンパワメント活動が控えていることから、健闘を誓い合い、年内最後の中央委員会を締め括った。

瀬戸高志
執行委員長

会計監査報告
朝田恵已監査委員

エンパワメント活動報告
西賀茂支部

エンパワメント活動報告
東西線乗務支部

各種委員会レジメ

2013.11.12
京交組合本部

第7回 執行委員会

報告事項
1．自治労関係
(1) 国家公務員制度改革法案について（別紙）
(2) 2014年度国際連帯救援カンパの取り組みについて（別紙）
2．市労連関係
(1) 第4回執行委員会及び団体交渉について（別紙）
3．対局関係
(1) 2015年3月実施の市バス新運転計画について（別紙）
(2) 秋の観光シーズンにおける市バス・地下鉄の増発等について（別紙）
(3) バス停留所付近の違法駐停車防止キャンペーンについて（別紙）
(4) 京都市域におけるバス均一区間の拡大について（口頭）
(5) 団体交渉について（別紙）
4．その他
(1) 都大路作戦2013・秋について（別冊）
(2) 西賀茂支部エンパワメントプラン活動報告について（別紙）

議案事項
1．西賀茂支部エンパワメントプランについて（別紙）
2．青年女性委員会エンパワメントプランについて（別紙）
3．その他

2013.11.26
京交組合本部

第8回 執行委員会

報告事項
1．12月日程について（別紙）
2．自治労関係
(1) 交通政策基本法案について（別紙）
(2) 府本部第2回執行委員会について（別紙）
3．対局関係
(1) 京都市域におけるバス均一区間の拡大について（別紙）
(2)「四条KAWARAMACHI FEST」について（別紙）
(3)「Kotochika」クリスマスイベントについて（別紙）
(4) 地下鉄・市バス応援キャラクターについて（別紙）
(5) 地下鉄三条京阪駅「セブンイレブン」のオープンについて（別紙）
4．その他
(1) 東西線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について（別紙）

議案事項
1．2013年度第1四半期会計決算並びに監査報告について（別冊）
2．西賀茂支部エンパワメントプランについて（別紙）
3．梅津支部エンパワメントプランについて（別紙）
4．錦林支部エンパワメントプランについて（別紙）
5．九条支部エンパワメントプランについて（別紙）
6．烏丸支部エンパワメントプランについて（別紙）
7．駅務支部エンパワメントプランについて（別紙）
8．京交レクレーションについて（別紙）
9．その他

2013.11.27
アークホテル京都

第3回　中央委員会

執行委員長挨拶

報告事項
1．12月日程について（別紙）
2．自治労関係
(1) 交通政策基本法案について（別紙）
(2) 府本部第2回執行委員会について（別紙）
3．対局関係
(1) 京都市域におけるバス均一区間の拡大について（別紙）
(2)「四条KAWARAMACHI FEST」について（別紙）
(3)「Kotochika」クリスマスイベントについて（別紙）
(4) 地下鉄・市バス応援キャラクターについて（別紙）
(5) 地下鉄三条京阪駅「セブンイレブン」のオープンについて（別紙）
(6) 団体交渉について（別紙）
4．その他
(1) 西賀茂支部エンパワメントプラン活動報告について（別紙）
(2) 東西線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について（別紙）

議案事項
1．2013年度第1四半期会計決算並びに監査報告について（別冊）
2．京交レクレーションについて（別紙）
3．その他

京都交通労働組合
電話(075)841－0948
発行者　瀬戸高志
編集者　佐田　悟

・・一　面・・
・第3回　中央委員会
・今月の言葉
・～沖縄から問う～
「平和、人権、いのち」

・・二　面・・
・京交レクレーション
物語のある港町「神戸」を巡る!!日帰りバスツアー

今月の言葉

学びて然る後に足らざるを知り、教えて然る後に困しむを知る

「学びて然る後に足らざるを知る」――学ぶことによって自分に不足しているものがわかってくる。だから、学ぶことには終局がない。

「教えて然る後に困しみを知る」――これは教える立場に立った人でないと、理解できない面があるかもしれない。ふつう、人から学ぶよりも、人に教えるほうが二倍も三倍もの労力を必要とする。人に対してまちがったことを教えるわけにはいかないから、時間をかけて勉強もし、準備もする。それでも十分だということはありえない。たえず自分の未熟さを思い出し知らされる羽目になる。

それが、ここに言う「困しみ」に他ならない。だから、その「困しみ」をバネにして、いっそう勉強に励まざるをえないということになる。

つまり、このことばは、「足らざるを知る」ことも「困しみを知る」ことも、自分を向上させる動機になることを語っているのだ。

～沖縄から問う～「平和、人権、いのち」

憲法理念の実現をめざす第50回　護憲大会in沖縄

十一月三日（日）～五日（火）の三日間の日程で、第50回護憲大会が沖縄の那覇市で行われました。「核も基地も戦争もない世界を！」をテーマに全国から約一〇〇〇人が沖縄に結集し、京交からは二名が京都平和フォーラムの一員として参加しました。オープニングでは、海勢頭 豊さんの沖縄民謡が披露され、その後、主催者である福山真劫・大会実行委員長より「50回を数える節目の護憲大会が沖縄で開催されますことに、感慨深いものがあります。憲法との関係では、沖縄に適用されるのは実に四半世紀もの差があります。その意味では沖縄にとって、戦争を放棄して、基本的人権を保障し、国民主権を謳う、平和憲法への復帰から四十一年が経ったことになります。私たちは政府の行為によって再び戦争の惨禍がないよう、国民が主権者であることを宣言した平和憲法を、ここに集まった私たち一人ひとりが、平和憲法の息吹は、どのようなものか学び、体験し、ここ沖縄から日本全体にいきわたるよう、活発な論議が展開されることを期待します。」と挨拶されました。また、地元を代表して沖縄県実行委員会・高良委員長より「沖縄で行われる護憲大会成功に向け、試行錯誤しながら準備を進めてきました。ここ沖縄の地での大会が、平和と人権確立への転換点とするよう歴史的大会になるようお願いします。」と挨拶に立ち、来賓である社民党、吉田忠智党首の挨拶へと続きました。

その後、講演とシンポジウムが行われ、一日目が終わりました。二日目は、大会テーマの、沖縄から問う「平和、人権、いのち」を総テーマに七か所に分かれて分化会が開かれました。非核・平和・安全保障や地球環境～脱原発に向けて、歴史認識と戦後補償、人権確立や憲法などが終日討論されました。三日目は閉会総会が行われ、藤本事務局長から「次回開催まで一年間、全力で安倍内閣の憲法無視の政治を許さず憲法理念の実現を目指そう」と訴えがあり、最後に大会アピールを参加者全員で確認し、三日間の大会が終了しました。私たちは大会を終え、普天間問題など基地負担の押し付けや、現実、沖縄の空にはMV22オスプレイをはじめ米軍機が昼夜を問わず轟音をあげて飛行し、実弾砲撃訓練など国民を無視して米国の言いなりになっている状況下では、主権を回復しているとは言えない状況であることを認識し、「平和憲法」を世界にはばたかせる為にも、ここ沖縄での護憲大会の持つ意義は大きなものであると実感し帰路に着きました。

書記次長　伴野敏之

京交レクレーション

物語のある港町「神戸」を巡る!!　日帰りバスツアー

～神戸海洋博物館・カワサキワールド＆ミュージックグルメ船「コンチェルト」～

毎年多くの組合員と家族が参加する、京交社会保障部主催の日帰りバスツアーが今年も十月十二日（日）の第一陣を皮切りに十一月十日（日）まで、六班に分けて総勢三七〇名の皆さまが参加して開催されました。今年度は、「物語のある港町神戸日帰りバスツアー」と題して、「海洋博物館・カワサキワールド」見学とミュージックグルメ船「コンチェルト」で豪華な中華バイキングに食べ飲み放題という、ちょっぴりリッチな内容となりました。また、自由時間を設定し、二〇一三年四月十九日に開業した「アンパンマンミュージアム」でお子様と遊んだりと、みなさん有意義に自由時間を過ごされていました。今回のバスツアーは、絶好の行楽日和の日もあれば生憎の雨模様の日もありましたが、移動距離が短いということと、参加された皆様の協力もあって、時間どおりの行程消化となりました。ご参加いただきました組合員の皆さま、ご家族の皆さま、世話役を務めた役員の皆さま、ありがとうございました。今後も皆さんに喜んでいただけるレクレーションを企画していきますので、ご参加お待ちしております。

神戸海洋博物館

神戸海洋博物館は神戸開港一二〇周年記念事業として、一九八七年に開館し二〇〇五年四月「海から港から神戸が始まり、未来に船出する」を新たなコンセプトとしてリニューアルオープンしました。「現代から未来の神戸港」「歴史から見た神戸港」と二つのコーナーに大別し、神戸開港を中心とした、海・船・港の昨日・明日を分かりやすく展示している博物館です。

カワサキワールド

神戸港とともに歩んできた川崎重工業の創業以来の歴史から、製品紹介まで、見て・聞いて・体験する、大人から子どもまでが楽しめる博物館で、初代０系新幹線やヘリコプター、モーターサイクル等の実物展示を通じ、事業を紹介しています。

〈参加者の声〉

・楽しかった。また行きたい！・もっと遊びたい（隣の子どもさんの声）

・この値段で安い（主催者が一部負担しています）

・料理が美味しいし、メニューもたくさんあって満足でした。

KOBEの街並み

ショッピングモール「umie」

ハーバーランドから神戸市内を望む

ハーバーランド広場の中央にある「はね橋（はねっこ）」

神戸煉瓦倉庫周辺

コンチェルト

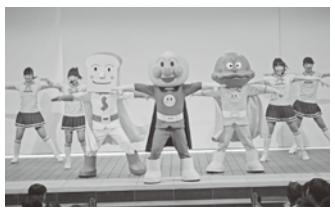
乗船したグルメ船「コンチェルト」

♡KOBEARがお出迎え♡

♪ピアノ生演奏♪

中華バイキングを堪能しました

神戸アンパンマンこどもミュージアム＆モール


やなせたかし劇場のアンパンマンショー

アンパンマンテラス

全国で４カ所目、西日本初

神戸海洋博物館＆カワサキワールド

０系新幹線

125　B８M

KR－２

KX250SR

パフォーマンスロボット

モーターサイクルギャラリー

英国艦船「ロドニー号」

＝施設全景＝

川崎バートルKV－107Ⅱ

低床電池駆動路面電車「SWIMO」

バスツアーに参加された皆様

▷・▷・▷10月20日出発（一班）◁・◁・◁

▶・▶・▶10月19日出発◀・◀・◀

▷・▷・▷10月12日出発◁・◁・◁

▶・▶・▶10月20日出発（二班）◀・◀・◀

▷・▷・▷10月27日出発（一班）◁・◁・◁

▶・▶・▶10月27日出発（二班）◀・◀・◀

▷・▷・▷11月10日出発（一班）◁・◁・◁

▶・▶・▶11月10日出発（二班）◀・◀・◀

▷・▷・▷11月９日出発◁・◁・◁